

議会運営委員会会議録

平成14年3月18日午前9時から委員会室で開かれた。

1. 出席委員

◎森河 昌之 ○萬里川美代子 中西 和夫
 西谷 剛周 木田 守彦 小野議長
欠席委員 野呂 民平

2. 会議の書記

議会事務局長 小野 美枝子 同係長 上埜 幸弘

3. 審査事項

別紙のとおり

委員長 開会（午前9時00分）

議長 あいさつ

委員長 野呂委員が所用のために欠席するということを聞いております。
署名委員に西谷委員、木田委員、定例会開会中よろしく申し上げます。

協議事項として、平成14年第1回斑鳩町議会定例会について、各議案の取扱いについては、皆さんにお配りしておりますとおりでありますが、一般会計予算だけ賛成多数で可決、賛否の討論がありました。本会議では賛否討論1名ずつということでお取りはからい願えますか。

（委員了承）

委員長 次に、追加日程について、同意第1号 助役の選任について同意を求めることについてでございますが、議長より説明をいただきます。

議長 先日町長から初日をお願いしていた助役の選任についての件で、現助役芳村是氏を選任したいのでよろしくお願いたしますということです。このことについては最終日に全員協議会の時に時間をいただいて全議員さんをお願いしたいとこのようにおっしゃっています。

委員長 ただ今の報告について了解していただけますか。

（委員了承）

委員長 次に、発議第1号 中小企業の当面する金融上の困難を解消し、「金融アセスメント法」の早期制定を求める意見書ということで、これは建

設水道常任委員会に付託いたしました。その中で最終日に出していただくということで取り上げておきたいと思います。よろしいですか。

(委員了承)

委員長 次に、その他ということですが、(1) 議員の欠員のため、3 常任委員会数の是非及び定数・特別委員会委員数の選任についてということを経験といたします。

この前に出ておりましたように、ここに県下の常任委員会の定数等の資料があると思います。2 常任委員会にするか、それとも特別委員会だけを6名に持っていくかという意見が出ておりましたが、何のご意見ございますか。

3 常任委員会で、5・5・4にした場合、何処を減らすかということがございますが、来年の改選までにこれで行きたいと思っております。どうでしょうか。

西谷委員 人数が4人になると無理があるという気がしますから、2 常任委員会でいったらどうかと思います。

議長 総務委員会で松田委員が2 常任委員会を考えると違うかなという話をされたのですが、松田委員も迷っておられたような気がします。本会議主義と委員会中心主義ということで、委員会中心主義でいくならば3つの方がいいと思う。2つにしたらということは、1 2月議会の時までに検討してもらったという提案だったと思います。

差し迫っての5月の臨時議会、常任委員会は条例で決まっておりますので、3つの常任委員会、定数は5・5・6ということで、1 年間は欠員で行かなければならない。今すぐ2つにするというのは早急だと思う。もっと検討しなければいけないと思う。とりあえず1 4年度は今の常

任委員会で人数の振り分けだけ検討していただきたらと思う。2つの常任委員会は、次の議会運営委員会のメンバーで審議していただきたらと思う。その辺を整理してもらえたらと思う。

委員長 打ち合わせの時にいろいろと審議させていただきましたが、4名だから慎重な審議が出来ないこともあるだろうし、建設の方は専門的なものが多くなってくるという意見が出ました。その中で3常任委員会にしたら、総務5、厚生5、建設4ということもどうかという意見もありました。少数であると審議できんということもないだろうということで、こういうことでどうだろうと打ち合わせの時にしておりました。

町では菟田野町では12人で3常任委員会、村の方では2常任委員会のところもありますが、町では3常任委員会をとっておられるところが多いというデータが出ております。

西谷委員 大宇陀町は2常任委員会でやっている。仮に4人になったら2人欠席したら委員会は成立しないということもあるし、どんなことがあるか分からないということがある中で、私は避けた方がいいような気がします。

木田委員 皆さんの意見もよく分かりますが、悪い方へ悪い方へ考えてもいかんやろうし、前向きにあと1年間この状態でやっていかなければならない前提の元で話をしないと、欠席したら委員会がどうのこうのというようなことより、14年度はこの状態でいかんという前提の元で話を進めてもらいたい。

西谷委員 なぜこういうことを言うかというのと、4人の委員会で委員長、副委員長は行政と打ち合わせをして、意見が一緒だったら、それで審議を進める上で2人が半数を占めるような、そういう委員構成でいいのかなとい

う心配が多少ある。

委員長

そういうことも若干考慮しておりましたが、しかし2・2に分かれたとしても本会議で採決となって賛否を問うていきますので、そう心配はないだろうという感じをしている。

あと1年だけの辛抱だから、木田委員が言われたように前向きに進んでいくことも必要なことだと思う。

議長

参考までに三郷町は15名の定数で、5・5・5なのです。昨年2月頃に議員さんが亡くなりました。昨年度どうしたかと高岡議長に聞いたたら、総務5、文教厚生5、産業建設が4ということで、1名欠員という形で今年やってきています。5月に補選がありますので、新しく選ばれた議員さんに好きなところに入ってもらうような形を取るみたいです。

先ほど木田委員が言っておりますように定数を今さわる事が出来ませんので、あくまでも定数は16なのです。それで2人欠員で14人ということで、5月の改選の時にどこへ欠員を持っていくかということだけを決めていただけたらと思います。

西谷委員がおっしゃっているのは、次の議会運営委員会で議論してもらって、条例改正なりをしてもらうのがベターであると思います。

萬里川委員

私自身は人数もさることながら、もし2常任委員会にした場合、今までの3常任委員会でも議論を尽くして、午前9時からやっても午後3時4時とかかった経緯がある。2常任委員会にしたときに、これを見ますと総務厚生とか経済建設という形でされているようですけれど、相当時間がかかる。その中で要するに時間がかかりすぎて、適当な審議にならないざるを得ない部分があるのかなと、そういう心配をしています。

要するに来年度の議会運営委員会に任せるということであれば、定数

が16という形で挙がってくるのですから、出来得ればこの審議を重きにおいて委員会を中心とするのならば、やはり3委員会としておいていただきたいと思います。

本来なら今の委員がそのまま行っていただくことになれば、どこを4にしようか5にしようかという心配はないと思う。それぞれの議員さんの思いもあるかなと思うのです。今度公共下水道が進んで行くから建設水道を5にしておく方がいいとか、私個人の考えではこれから総合福祉会館がつくるであろうということから、厚生を5にしてほしいという、それぞれの意見がある。今議長が申されたようにどこに14名の人数を配置するかということ審議して行くべきではないかと思います。

中西委員 萬里川委員が言われたとおりです。

委員長 2常任委員会と3常任委員会に分かれておりますが、決を採るよりも、ここで我々といたしましては3常任委員会で行くということでご報告させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

西谷委員それでよろしいか。

(西谷委員了承)

委員長 そうしたら3常任委員会で行くということで、議運でとり組みさせていただいたということさせていただきたいと思います。

定数の振り分けをここで決めておきたいと思います。総務は何名がいいですか。

萬里川委員 5で、4ではないと思います。

委員長 5でよろしいですか。総務常任委員会は5名。それから厚生は何名に
しましょうか。

木田委員 ふれあいの行事もありますし、5でどうですか。

委員長 そしたら厚生が5、残り建設水道が4ということで確約させていただ
いたということで、全協で報告させていただきます。

それと、特別委員会の設置のことをございますが、特別委員会は現在
7名で取り組んでおりますが、どうさせていただきますか。各常任委員会2
・2・2でどうかと思いますが、みなさんどうでしょうか。

(委員了承)

委員長 そしたら特別委員会の委員については各常任委員会から2名ずつとい
うことでとり決めさせていただきたいと思います。

議 長 予算と決算特別委員会はその都度会議に諮って6人で決めていただけ
ればいけると思いますが、条例では議会運営委員会7名、都市基盤も会
議で7名と決めておりますが、それは変更なしで欠員1名ということで
させていただいたらと思います。

委員長 条例の改正をしないで、1名欠員で行くということでございます。そ
の点も理解お願いしておきます。

次に、(2)平成14年第2回斑鳩町議会臨時会の日程についてとい
うことで、ここに案ということで14年5月10日と挙がっております
が、これでご承認お願いしたいと思いますが、どうでございますか。

(委員了承)

委員長 そしたら、臨時会は5月10日ということで確認させていただきます。次に、(3)平成14年度第3回斑鳩町議会定例会日程(案)ということで、2案出ております。1案は6月3日から、2案は6月4日からとなっています。どちらか決めていただけますか。

木田委員 2案は初日から一般質問までなぜこんなに空いているのですか。

事務局長 2案の初日4日にさせていただきまして、次の10日の一般質問まで5日間休会になっておりますのは、一般質問が多いのかなという考えもありまして、このような日程を上げさせていただきました。土日含めて3日間ですと職員の方で無理も出てまいりますので、このように空けさせてもらったら答弁もより正確なものが挙がってくるのではないかという気がしまして、案を作成し議長にご相談申し上げたところです。

木田委員 私は1案で結構です。

中西委員 1案の方がいい。

西谷委員 1案でいい。

萬里川委員

1案です。

議 長 12日は農業委員会ですやろ、10日から水道決算から建水と、12日空けて13日を都市基盤にすればと、これは何か理由が。

事務局長 テープ起こし関係のことも配慮いたしまして、12日農業委員会は承

知いたしております。また係長とも相談いたしまして、日程の調整をさせていただきますと思いますが。

中西委員 できたら5日と12日は外していただいた方がいいと思う。5日は現調がありますから。

委員長 事務局その辺調整してもらって・・・

木田委員 昼までに終わったらいけると思う。

委員長 それでは1案の方で全協に報告をいたしますのでお願いしておきたいと思います。

次に、(4)閉会中の継続審査案件についてということで、各常任委員会から議長の方に申し出ているとおりでございますが、よろしいでしょうか。

(委員了承)

委員長 次に、その他ということで、この前土日議会についてのアンケート調査でございますが、まとまっておりませんので、皆さんに審議をお願いしたいと思う。

打ち合わせの時話をしておりましたが、広報に載せていただいてご意見がありましたら事務局の方ということではないかというようなことも言っておりました。広報紙にそういう文面を載せるということでもいいと思っておりますが、どうでしょうか。

木田委員 それしか方法はないのと違いますか。一応やってみて考えたらいいと思う。

委員長 広報委員会の方には申し出ておりませんが、そういうやり方で入れさせてもらうということでよろしいですか。

(委員了承)

委員長 広報委員会と打ち合わせをいたしまして、そういうふうに諮っていきたいと思います。

他に何かございますか。

議長 この前の総務委員会でも話させていただいたのですが、町村合併の件で、やはりもっと議論をしていかないといかんなどということを感じております。町長の施政方針でも「議会におかれましてもこの問題について活発な議論を進めていただきたい、共に歩んでいただいて重ねてお願い申し上げる次第です」と、松田議員も西谷議員もみなさんいろいろ言っておられた経緯がありますし、やっぱり避けて通れない問題ですし、どのようにして議員さんに連絡したらいいか1年過ぎてきたのです。この際特別委員会の設置を検討していただきたいと思う。遅いかもかもしれませんが、5月の改選の時に特別委員会を設置という形に持っていただけたらと思う。この議運のメンバーで提案してもらって、全協で進めさせてもらったと思う。どうでしょうか、時間的にせっぱ詰まってからの話で、もっと早くから提案したらよかったと思っておりますが。

委員長 提案をしたらということなんですが、みなさんどうでしょうか。ここで確認をとっていただいて、特別委員会の設置ということにしたいと思いますが、議運で決めさせていただいて全協に報告する方法と、全協で議長の方から確約をしていただく方法をとってもらったらいいと思います。それでよろしいですか。

(委員了承)

委員長 そしたら、我々としましては、特別委員会の5月の設置についてということで、当委員会はこちらで確約をしておいたと、それを全協の方で議長から諮問していただいてやっていくということにしたいとおもいます。そういうことでよろしく願いいたします。

他にありますか。

議 長 お手元に当初のコピーがございますが、3月13日に事務局が気づいたのですが、こだまの箱に入っていました。住所も名前も書いていないのですが、私の判断で、議会に対してのこういう思いがありますということで書いておられるということで、相手に返事をするのは出来ませんが、議員さんに配布したいと思ひまして、議運の委員さんに了解をしていただきたいと思いますと思いますが、どうでしょうか。

委員長 今議長の方から、投書の文面を配布に留めておきたいということでございますが、どうでしょうか。

木田委員 やっぱり少数の意見であっても、議員として真摯に受け止めてやっていかなければならないということは、皆ご承知の通りだと思いますので、それはそのように処置をしたらいいと思います。

委員長 それでは全員協議会の方で配布したいと思います。

これで議会運営委員会を終了いたします。(午前9時46分)

